

『時事直言』 No.1705 2024年11月5日

[HP] <http://chokugen.com/>

[FAX] 03-3956-1313

[mail] info@chokugen.com

[X(旧 twitter)] [t_masuda2019/](https://twitter.com/t_masuda2019)

[Youtube] 増田俊男チャンネル/

[instagram] [t_masuda2019/](https://www.instagram.com/t_masuda2019/)



時事評論家 増田俊男

不正選挙は民主主義の必要悪

本日11月5日(米国時間11月4日)はアメリカの大統領選投票日前日である。

トランプ支持者は全員楽観論者で、トランプの勝利を信じている。

トランプが2016年の大統領選でヒラリーと戦った時、投票日寸前のギャラップ調査ではトランプ支持率35%、不支持率62%でトランプの勝利はあり得ない状況であったが、結果は、正に奇跡のトランプ勝利。

全国の投票数ではヒラリーが勝っていたが、選挙人投票では激戦地を制したトランプが勝った。

トランプ支持者は、トランプが2020大統領選でバイデンに敗れたのは不正選挙によるものと信じて疑わない。不正選挙の証拠が次々に暴かれ、不正選挙を訴える50件以上訴訟されたがすべての裁判所は門前払いにした。

不正の事実を突きつけても裁判所が取り合わなかったのだから暴力に訴えるしかなかったのが2021年1月6日の議会乱入事件である。

今回もしトランプが負ければ、トランプ支持者は再び不正選挙の為と信じ暴動を起こすだろう。

2020年の大統領選での民主党の不正は詳細にわたって知られているので今回の選挙で共和党が厳重に監視しているのは当然である。

今回民主党はよほど高度な不正手段を使わないと不正が出来ない。

民主党の不正が成功すればハリスの勝ちとなり、もし不正が失敗に終わればトランプが勝つ。

アメリカの歴史上不正なき大統領選挙などあり得ないのである。

アメリカの識字率(読み書きが出来、文が理解出来る率)は86%で先進国中最低である。(日本やイギリスは99.9%)建国以来アメリカを主導してきた白人の人口比(現在57%)が急速に低下、有権者数で異文化の有色人種が過半数を越す可能性がある。

又アメリカの有権者の80%は感情に左右されて投票する。

こうした国民にアメリカの運命を託すことなど出来ないのである。

不正選挙は白人と資本が望むアメリカの為、必要欠くべからざるヘッジであり保険なのである。

最高裁判事9名の内6人が保守派でトランプ側であるにもかかわらず不正選挙訴訟をことごとく却下したのは、共和か民主かなどの前にアメリカの必要悪を守らなくてはアメリカが守れないからである。

見せかけの民主主義を世界に普及し、「世界を屋根に上げて梯子を外す」のが国益第一のアメリカの民主主義の本音である。

「日本の憲法はアメリカが作った(バイデン)」と言われる日本国憲法の前文同様日本の民主主義はアメリカに捧げる為の民主主義である。

ちなみに日本国憲法前文には「、平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して我々の安全と存在を保持しよう」と決意した」と書かれていて、世界には北朝鮮のような国はいないことを前提にしている。

憲法第9条の戦争放棄、「陸海戦力を持たず、(攻撃されても)交戦権これを認めず」で日本を常に「丸裸」にし、憲法前文と相まってアメリカの対日永久支配が固定化されている。

アメリカ大統領選を前にして、アメリカの奪う民主主義の犠牲を蒙り続けてきた日本はアメリカに与え続ける日本の民主主義を考え直す時が来たのではないのか。

ハリス(バイデン)は静かに日本の富を奪い、トランプは強盗のごとく奪う。

増田塾で「アメリカのアキレス腱」の勉強をすれば、皆様も日本の為に何かが出来ようになるのではないのか。

「時事直言」の文章及び文中記事の引用をご希望の方は、
事前にマスタ U.S. リサーチジャパン株式会社 (FAX: 03-3956-1313) までお知らせ下さい。